

政策評価書（要旨） （事前の事業評価）

事業名	新空対艦誘導弾（XASM-3）	担当部局	経理装備局システム装備課
政策体系	研究・開発	実施時期	平成21年10月

<b>事業の内容</b> 高性能な対空火器が搭載されている敵戦闘艦艇に対して、より効果的な対処を可能とするために使用する新空対艦誘導弾（XASM-3）を開発する。	22	23	24	25	26	27	28	完了年度 28年度
			試	作				経費総額 約325億円
<b>所要経費</b> 約23億円（平成22年度概算要求額、後年度負担額を含む。）					試験			

<b>評価の内容</b> <b>事業の目的</b> 80式空対艦誘導弾（ASM-1）及び93式空対艦誘導弾（ASM-2）の後継として、F-2に装備し、高性能な対空火器が搭載されている敵戦闘艦艇に対して、より効果的な対処を可能とするために使用する新空対艦誘導弾（XASM-3）を開発する。	<b>事業実施の効果・時期</b> 1 実施の効果 高性能な対空火器が搭載されている敵戦闘艦艇に対して残存性の向上が図られた誘導弾による対処が可能となる。 2 実施の時期 平成22年度から平成28年度にかけて試作を実施し、平成25年度から平成28年度にかけて試験を実施する予定である。
<b>事業の必要性・適正性</b> 近年の諸外国においては、高性能な対空火器が搭載されている水上艦艇の導入が進められており、このような高性能な対空火器が搭載された敵戦闘艦艇に対して、より効果的な対処を可能とするため、新空対艦誘導弾（XASM-3）の開発は必要である。	

<b>今後の対応</b> 本事業は、近年の諸外国において導入が進められている、高性能な対空火器が搭載されている敵戦闘艦艇に対して、より効果的な対処能力を有する装備品を開発するものであり、我が国国民の生命・財産を守る観点から速やかに本事業に着手する必要があることから、平成22年度概算要求を実施する。	<b>その他の参考情報</b> [Blank]
--	----------------------------